

次期中間処理施設整備事業に関する意見書

印西地区環境整備事業組合
印西クリーンセンター
次期施設推進班 宛て

1. 留意事項

- (1) 提出のあったご意見は、今後、次期中間処理施設整備事業を進めていく上で、参考資料として活用させていただきます。また、印西地区環境整備事業組合のホームページで公開しますが、不当な圧力、個人や特定の団体に対する誹謗中傷、財産・プライバシー・著作権の侵害及び営利目的等の記述が含まれる場合は、当該提出及び公開をしません。
- (2) 匿名による意見提出が可能です。意見提出者（ご自身）の氏名等の公開を希望される場合は、下記意見欄の末尾に当該個人情報をご記入ください。
- (3) 意見書は、この様式によるものの他、この様式に準じた任意様式でも結構です。
- (4) 意見記入欄が不足する場合は、適宜、用紙を追加してください。

2. 意見

平成26年12月24日提出

1. 「隣接地域住民に対する理解度・協力度の評価」について

吉田地区の建設候補地は、吉田地区民の住居よりも、松崎地区民の住居に近い状況にありますが、用地検討委員会は、ただ1回の意見交換会の結果をもって、「施設からの距離」だけで評価していて、納得できません。

さらに、意見交換会における地元の意見と周辺地域の意見に6：4の重みづけをして評価していますが、その根拠（正当性）はどこにあるのでしょうか。これでは、意見の公平性が保てないのではないのでしょうか。

2. 「地域社会貢献対策費、余熱利用設備費、ランニングコスト等」について

ごみ焼却施設を建設・運転し始めると、次のような費用についても、経済性の観点から無視できないものと思います。しかし、用地検討委員会は、概算事業費に各候補地についてのこれら費用（予算額）を考慮せずに、候補地順位を決めています。

地域社会貢献対策費

余熱利用設備費

施設のランニングコスト等・・・ごみ運搬費用・他

確かに現段階では予算額を算出することが難しい費用もあるようですが、絶対に不可能なことなのでしょうか。最終的には必要な予算ですので、もう少し時間を掛けて、より現実的な事業費にて比較すべきことと思います。

今後は吉田地区への建設に向けて動き始めるとのことでしたが、何故、そんなに急ぐのでしょうか。あまりにも拙速な感じが否めません。

これらのことから、現段階では「吉田地区へのごみ焼却施設の建設には反対」させていただきます。

印西市松崎 小沼健治